

私立 関西大学

景気に左右されない職業選択力を育む関西大学キャリアサポート

取組期間	2009(平成21)年度～2011(平成23)年度
区分	学生支援推進プログラム
所在地	〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
設置者	学校法人 関西大学

取組内容とその成果

プログラムの目的及び内容

本学では、これまでも入学時から各学部の導入教育、正課のキャリア教育、全学的で多様なインターンシップ等、多彩な就職活動支援を展開している。本取組では、これら一連の支援の中でも、特に具体的な就職活動支援において、キャリアカウンセリングを基軸としたきめ細かな学生相談体制とともに、年間1,000社を超える企業を学内に招く各種セミナーや、各界で活躍するOB・OGとの懇談会の実施など、学生の意気を鼓舞する目に見えるダイナミックな支援事業を重点化して展開することによって時代の景気の良し悪しに関係なく、学生にしっかりとした進路・職業選択ができる力を涵養することを企図している。

到達目標

本取組は、就職決定率の向上や大手著名企業等への就職者数の増大だけを目指すに留まらない。学生が自分自身で自己実現の目標を設定し、目標に対する達成度及び満足度を向上させることこそが重要と考えている。これらを捕捉することによって、本学の取組を検証する指標になると考えている。

プログラムの実施内容

時代の景気の良し悪しに関係なく、しっかりとした進路・職業選択ができる能力を涵養するため、企業研究会や対策講座の実施、及びキャリアカウンセリングを基軸としたきめ細やかな学生相談体制を整えることにより、学生一人ひとりの勤労観・職業観を育成するとともに、自ら掲げた目標の実現のために考えて行動できる「考動力」を備えた自律型社会人の育成を図ることに本プログラムの意図はある。

内容としては（別紙1）、当該学部4年次・修士1

年次生対象には①5・6・7・9・11月に学内で合同企業研究会を実施、②6・9月には採用継続調査を企業に実施、③6月～翌年3月まで学生の就職活動状況調査を逐次実施して内定状況の把握を行い、未内定者の拾い上げと個人指導に繋げた。

さらに学部3年次・修士1年次生対象には①5～6月には就職活動準備講座を実施して意識を高め、夏休み期間中の大規模なインターンシップを挟んで②9月には東京ツアー（経済・政治の中心地である首都圏での就職をイメージするための啓発行事）を実施し、③10月～2月には各種就職活動対策講座を実施し、④12月には学内企業研究会や全国有力企業研究会など250社を超える企業の協力を得て開催、2月には約600社による学内合同企業研究会を実施した。これらに加えて、就職専門相談員を置いて学生一人ひとりと向き合う個別の相談対応（別紙2表1）を図った。

プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

学内では、どのような方法で周知徹底したのか。

2009(平成21)年度に採択を受けた段階で、本事業に関する要旨を本学の機関誌である「REED 第18号 2009(平成21)年8月25日発行」に掲載したのをはじめとして、教育後援会（保護者組織）の会報「葦」第144号 2009(平成21)年12月18日発行)にも本取組の趣旨を紹介して周知を図った。

2. 当該プログラムの成果

①自己評価は、どのような観点で行ったか。

取組内容における個々の行事では、その都度、可能な限り学生による評価及び参加状況を検証して、次のプログラム実施の改善に資することとした。（別紙3及び別紙4）

また、就職結果については、進路決定登録の際に

満足度を問う調査を行い、その結果の推移を就職決定率の変化と合わせて本取組の成果指標として捉えることができた。

②到達目標に達したか。

本取組として所期に予定していた事業計画は全て実行できた。2011(平成23)年度については東日本大震災の影響等を考慮して、部分的に更に充実させるために付加したものもある。

究極の到達目標となれば、就職活動希望者が100%の就職を果たすことであろうが、残念ながら実際はそこまでは望めない。学部生の就職活動者に対する就職決定率は、2009(平成21)年度で93.6%(別紙5)、2010(平成22)年度で94.3%(別紙6)となり、上昇する結果となった。2011(平成23)年度については、現在も集計中のため精緻な報告は現時点では叶わないが、これまでの期中サンプル調査の傾向を見ると概ね昨年度以上の成果が見込まれる。

また、就職決定時の決定先の満足度(別紙2表2)については、2009(平成21)年度では大変満足が47.3%、大体満足が45.7%で93%の学生が満足している回答を寄せ、2010(平成22)年度は大変満足が50.7%、大体満足が44%で94.7%の学生が満足した旨の回答を寄せており、本取組での就職活動支援が機能したひとつの結果と評価できる。

但し、本数値を見ると何れも非常に高い満足度を示す結果となったが、これが本当に自己の選択した就職先に対して満足を示しているのかを検証する必要があると考えている。というのも2010(平成22)年度の卒業生に対して、大学全体の自己点検・評価活動の取組として、就職事項だけではなく大学の教育や研究事業、その他学生サービス等全般にわたるアンケート調査を卒業式当日に実施した。その調査結果によると、就職先への満足度は78.9%とキャリアセンターへの決定報告時に比して幾分低い数値が表われている。これは、決定時においては就職活動が帰結したという満足を大きく含まれているので、その時は高い数値を示しているが、卒業時のように実際社会に進出する直前とでは意識の変化が伴っているのではないかと考えられる。残念ながら2009(平成21)年度においては卒業時のアンケート調査を実施していなかったため、この時点での満足度の変移については触れることが出来ない。また、2011(平成23)年度については、キャリアセンター及び大学全体の評価アンケートの何れも現段階で未集計である。今後も継続的に経年観測をはかる必要があると考え

ている。

③具体的な成果は何か。

前述のとおり、就職希望者に対する就職率及び就職決定先に対する満足度に関しては、何れもが2ヵ年のうちに向上する結果となった。最終年度の2011(平成23)年度実績については、本報告書作成段階では集積できていないが、例年実施されている文部科学省のサンプル調査の傾向値を見ると2011(平成23)年度についても上昇傾向にある。

また、2007(平成19)年度のリーマンショック以降の厳しい雇用環境にも関わらず、実社会の企業と連携して産業や職業に関する理解を深める取組を充実して、学生が未来に落胆することなく職業選択ができる場を継続的に提供できた。これは、本学の歴史と伝統、そして本学出身者が各界で活躍している評価とともに、本学が次代を担う人材育成に大学教育の一環として真摯に取り組んでいる理解が広まっているものと自己評価できる。

今後の計画

1. 当該プログラムの成果をどのように活用していくか。

本取組の二つの主軸は、企業等の協力を得て、ダイナミックに学生の就職活動支援のプログラムを提供することによって学生の意気を鼓舞することと、学生の一人ひとりの相談にきめ細かな相談対応体制を整えるために、就職専門相談員(キャリアカウンセラー)制度を導入したことである。

従来から本学ではキャリアセンターにキャリアデザインルーム(進路支援室)を設置して、キャリアデザインアドバイザー(産業カウンセラー等の資格を有した専門家)を配置して個別のキャリアカウンセリングを展開していたが、本制度は学年を問わず、また事前予約制での対応を行っており、時間を急ぐ就職相談に特化出来ない部分があった。しかし、今回の助成により就職活動を専門に相談できる別体制を敷くことができ、本学としては就職・進路に関する相談体制を骨太にシステム構築できることが叶った。

特に学生一人ひとりの相談に重点を置いた相談体制は継続的に制度として整備する予定としているが、それらのカウンセリング記録から読み取れる学生の実態を把握して、本学の教育体系に提言できる基礎資料としての活用が考えられる。

雇用環境が好転しても、学生の就職難の根本的な問題解決はなかなか進まないと考えられる。それは、雇用者側が求める人材像と学生の実態とにズレが生じているからである。大学としては、社会的経験が乏しい現代の若者をいかに社会に目を向けさせ、社会が求めている機能と役割を理解させ、必要な対応能力としっかりとした学力を備えさせることが大学教育として受け止めなければならない重大な使命であると考えている。

学生の資質の変化や雇用環境の状況を鑑みると、両軸は今後も重要な取組として継続して実施していく予定である。

2. 今後の計画

本取組に対する助成によって、様々な支援行事や就職専門相談員確保に資することができたが、本助成終了後も本学独自の予算を確保し、同レベル以上の取組を展開する予定である。

特に本学の事情として多キャンパス化に伴う学生サービスの充実が必須であり、本部となる千里山キャンパスを中心として高槻、高槻ミューズ、堺といった全てのキャンパスの学生に対して同質のキャリア形成・就職活動支援のプログラムを提供する準備を整えている。

また、次段階の取組として、これまで構築してきたキャリア形成・就職活動支援システムを基盤に、我が国の次代を担う人材養成の命題に応えるために、グローバル化社会に対応できる人材養成システムをキャリア教育の観点から構築中である。

本学としてのグローバル人材養成は、単に語学力に長けた学生を育てることに留まらず、日本人・外国人留学生を問わず現代社会の国際事情を理解した上で、我が国の立ち位置を理解して我が国の発展に寄与できる人材を育成することを趣旨としている。そのためには、クリティカル・シンキング及びロジカル・シンキングができるためのトレーニングや、国籍や年齢の異なる社会人や学生との交流を含めて、外地での体験実習をも取り組む内容のものを想定している。

社)、9月(54社)、11月(33社)に学内で合同企業研究会を開催するとともに、5月には「就活継続者対象ガイダンス」8・9月には「就活リスタート講座」と称して、これまでの就職活動を振り返って検証して、新たな気持ちで次の就職活動に臨む講座を提供している。併せて大学として最新の求人情報を入手するために、6月、9月に採用活動継続調査を企業側に行い、就職活動継続学生に提供している。また、キャリアセンター専任スタッフ及び就職専門相談員が未内定者に連絡をとって呼び出しを行い、個別の就職相談を断続的に実施している。

2. 未内定のまま卒業した者への支援策

本学では2005(平成17)年度よりキャリアセンター内に卒業生就業支援室を設置して、卒業後も概ね5年程度まで就業に関する個別相談、学内就職支援インターネット・システムの利用、既卒者向け求人情報の提供、就職活動に資するセミナーの実施等を無料にて支援している。

因みに同支援室の利用登録者は2009(平成21)年度が670名、2010(平成22)年度は603名、2011(平成23)年度は631名である。

就職未内定者への支援策

1. 内定(内々定)のピークを過ぎても内定(内々定)を得られない者への支援策

未内定者については、5月(211社)、6・7月(91

資 料

平成 23 年度行事参加人数一覧

別紙 1

行事名	詳細(実施回数、参加団体・企業名等)	対象年次	時期	日数	参加者数		申込制	平成22年度計				
					人数	計						
キャリアアップ・プログラミング	キャリアプランニングセミナー	1~3年次・M1生	4・5・6月	4	497	1,760	☆	1,390				
			4・5・6月	4	559							
			4・5・6月	4	420							
			5・6月	4	284							
		1~3年次・M1生	6~12月	9	267	267	★	70				
		1~3年次・M1生	6~12月	7	201	601	★	95				
		1~3年次・M1生	7月	1	400			48				
		1~3年次・M1生	10月	1	42	42	☆	該当なし				
		1・2年次生	3月	1	49	49	★	97				
仕事研究	仕事研究セミナー	公務員編	全学年	12月	1	130	130	☆	873			
		Job Study	1・2年次生	6月	1	50	50					
		Job Study	1~3年次・M1生	11月	1	139	139					
		Job Study(理工系)	1~3年次・M1生	11月	1	91	91					
		パネルディスカッション(専門商社)	3年次・M1生	12月	1	420	420	-	326			
		留学生向けセミナー	千里山:1回	3年次・M1生	11月	1	48	48	☆	75		
		障害者就職セミナー	千里山:1回	対象者	11月	1	17	17	☆	未開催		
		体育会セミナー	千里山:2回	3年次・M1生	1月	2	297	297	-	該当なし		
		女子セミナー	千里山:1回	3年次・M1生	10月	1	350	350	☆	489		
		東京ツアー・オリエンテーション	千里山:3回	1~3年次・M1生	7月	3	43	43	-	カウントなし		
東京ツアー(補助対象事業)		1~3年次・M1生	9月	3	40	40	★	77				
インターンシップ	インターンシップガイダンス	1・2・3年次生	千里山:4回	4月	2	1,850	2,119	-	2,354			
			高槻:1回	4月	1	260						
			高槻ミュージズ:1回	4月	1	9						
			堺:1回	4月	1	0						
	国際インターンシップガイダンス	1・2・3年次生	千里山:2回	4月	1	60	63	-	54			
			高槻:1回	4月	1	3						
			高槻ミュージズ:1回	4月	1	0						
	インターンシップA・B・長期募集ガイダンス	3年次・M1生	千里山:4回	5月	2	1,550	1,808	-	2,046			
			高槻:1回	5月	1	257						
			高槻ミュージズ:1回	5月	1	1						
	インターンシップ・オリエンテーション ※事前講座1	実習決定者	文系A・B・長期	6月	2	279	418	△	397			
			理系A・B・長期	6月	1	86						
			国際	5・8月	2	14						
			プレ	1月	1	39						
	インターンシップ事前講座	実習決定者	Ⅱ. しごと研究と業界研究	6月	2	333	752	△	719			
Ⅲ. マナーとコミュニケーション			6月	2	333							
Ⅳ. 安全対策			7月	1	86							
Ⅰ. 実習報告会			10月	1	337							
インターンシップ事後講座	実習生	Ⅱ. フィードバック	10月	2	355	695	△	536				
		長期	12月	1	3							
		千里山:3回	12月	3	250							
プレ・インターンシップガイダンス	2年次生	高槻:1回	12月	1	36	357	-	562				
		高槻ミュージズ:1回	12月	1	31							
		堺:1回	12月	1	40							
		千里山:3回	12月	3	250							
就職ガイダンス	就職ガイダンス	3年次・M1生	第1回(千里山・文系):4回	4月中旬	3	2,550	3,497	-	3,684			
			第1回(高槻・文系):1回		1	360						
			第1回(高槻ミュージズ・文系):1回		1	7						
		第1回(理工系学部):2回		2	580							
		第2回(千里山・文系):6回		5	4,270							
		第2回(高槻・文系):1回		1	500							
		自己分析ワーク【安川先生】(高槻:1回)	9月下旬	1	28							
		第2回(高槻ミュージズ・文系):1回		1	5							
		第2回(理工系学部):2回		2	1,250							
	3年次・M1生	第3回(千里山・文系):4回	11月	4	2,950	4,363	-	2,996				
		第3回(高槻・文系):1回		1	405							
		第3回(高槻ミュージズ・文系):1回		1	8							
		第3回(理工系学部):2回		2	1,000							
就活ミニガイダンス	千里山:2回	3年次生・M1生	12月	2	40	40	-	該当なし				
就職活動対策各種講座・セミナー	就活準備講座(補助対象事業)	3年次・M1生	Ⅰ:「働く」ことを考えよう(千里山):2回	5月上旬	2	850	865	-	1,337			
			Ⅰ:「働く」ことを考えよう(高槻):1回	5月上旬	1	15						
		3年次・M1生	Ⅱ:自己分析「自己を知ろう」(千里山):2回	5月下旬	2	1,000				1,028		
		Ⅱ:自己分析「自己を知ろう」(高槻):1回	5月下旬	1	28							
		3年次・M1生	Ⅲ:情報収集(日経)(千里山):2回	6・7月	2	800				836	-	該当なし
			Ⅲ:情報収集(日経)(高槻):1回	6月	1	36						
	3年次・M1生		Ⅰ:失敗しない企業選びのポイント(千里山):2回	10月	2	1,450	1,501					
	Ⅰ:失敗しない企業選びのポイント(高槻):1回	10月	1	51								
	3年次・M1生	Ⅱ:進路選択のキホン(千里山):2回	11月	2	1,500	1,583						
		Ⅱ:進路選択のキホン(高槻):1回	11月	1	83							
		Ⅲ:ビジネスマナー(千里山):4回	11月下旬	4	91		177					
		Ⅲ:ビジネスマナー(高槻):1回	11月	1	86							
		3年次・M1生	Ⅳ(Ⅲ):公開模擬面接—グループディスカッション(千里山):2回	11月下旬	2		1,800	1,886				
			Ⅳ(Ⅲ):公開模擬面接—グループディスカッション(高槻):1回	11月下旬	1		86					
			3年次・M1生	Ⅴ(Ⅳ):公開模擬面接—集団面接(千里山):2回	11月下旬		2		1,800	1,890		
Ⅴ(Ⅳ):公開模擬面接—集団面接(高槻):1回		11月下旬	1	90								
3年次・M1生		Ⅵ(Ⅴ):本番直前編(千里山):2回(高槻):1回	1月下旬	3	1,242		1,242					
3年次・M1生	就活高槻講座①	3年次・M1生	6月	1	20	58						
3年次・M1生	就活高槻講座②	3年次・M1生	6月	1	22							
3年次・M1生	就活高槻講座③	3年次・M1生	6月	1	16							

学生支援推進プログラム

平成 23 年度行事参加人数一覧

	行事名	詳細(実施回数、参加団体・企業名等)	対象年次	時期	日数	参加者数		申込制	平成22年度計	
						人数	計			
就職活動対策各種講座・セミナー	エントリーシート対策セミナー(補助対象事業)	千里山:8回	3年次・M1生	12月上旬	5	1,515	2,072	★	1,741	
		高槻:2回		12月上旬	1	165				
		理工系:2回		12月上旬	2	392				
	Uターンセミナー	千里山:1回		3年次・M1生	11月下旬	1	350	350	—	160
	ECCエアラインセミナー			3年次・M1生	—	—	未開催	—	☆	115
	三菱UFJ信託BK内定者セミナー	千里山:1回		3年次・M1生	12月	1	220	220	☆	62
	ビジネスセミナー講座	千里山:4回		3年次・M1生	11月	4	91	91	☆	該当なし
	モノづくり優良企業セミナー(理工系)	千里山:1回		3年次・M1生	12月	1	201	201	—	76
	就職活動のツボ(理工系)			3年次・M1生	—	—	未開催	—	☆	カウントなし
	就活体験報告会	千里山(各1回) 第1回 全体編		3年次・M1生	10月下旬	2	500	1,817	—	1,032
		第2回 ES編	12月中旬		1	650				
		第3回 面接編	1月上旬		1	600				
夏期就活支援プログラム ～就活とはなにかを理解する～	①高槻ミューズ		3年次・M1生	8月	1	9	32	☆	13	
	②高槻ミューズ			8月	1	23			14	
	③高槻ミューズ			8月	—	未開催			0	
模擬系	就職模擬試験 ※参加者数は、申込者数でカウント	千里山:3回・ミューズ:1回	3年次・M1生	6月	4	754	2,020	★	3,246	
		千里山:3回・ミューズ:1回		11月	4	757				
		千里山:2回・ミューズ:0回		1月	2	509				
	就職模擬面接 ※参加者数は、申込者数でカウント	千里山(60回)	3年次・M1生	12月	5	275	607	★	561	
高槻(12回)	12月	4		60						
千里山(64回)	2月	8		272						
企業系	金融業界合同企業研究会	池田泉州ホールディング、関西アーバン銀行等 15社(昨年度)	3年次・M1生	—	—	未開催	—	—	1,121	
	関関同立共催 全国有力企業研究会	救島製パン、中部国際空港等 111社	3年次・M1生	12月	2	829	829	—	657	
	業界研究会(業界・仕事・キャリアを考えるセミナー)	JTB、りそな銀行、関西電力等 31社	3年次・M1生	10・11月	14	17,140	17,140	—	該当なし	
	理工系限定！業界研究会	本田技研工業、旭化成等 9社	3年次・M1生	11月	9	745	745	—	1,736	
	企業研究会	NTTドコモ、住友商事等 154社	3年次・M1生	12月	12	32,410	32,410	—	34,976	
	合同企業研究会(補助対象事業)	文理とも(569社)	3年次・M1生	2月	16	9,195	9,281	—	7,580	
		高槻(6社)		1月	1	86	—	—		
	理工系限定！企業研究会	トヨタ自動車、パナソニック等 68社	3年次・M1生	12～1月	68	3,343	3,343	—	1,008	
	リクルーターによる訪問・説明会	日立製作所、ブリヂストン等 45社	3年次・M1生	2・3月	45	290	290	—	492	
	SBMC座談会	SBMC	3年次・M1生	2月	1	118	118	★	—	
	OBOG懇談会(高槻)	NTTコミュニケーションズ	3年次・M1生	12月	1	8	8	—	45	
	会社説明会(高槻)	NEC(学校推薦説明会)	3年次・M1生	2月	1	12	12	—	20	
	公務員	公務員ガイダンス	第1回(千里山:1回)	全学年	5月	1	230	395	—	527
第2回(千里山:1回、高槻ミューズ:1回)			10月		2	165	897			
公務員採用試験説明会		大阪府職員、京都市職員等 18団体	5月		5	563	1,053	1,343		
		大阪府職員、京都府職員等 16団体	3月		2	490				
公務員業務説明会		国税専門官、裁判所事務官等 5団体	12月		2	405	405			170
公務員合格体験報告会		千里山:1回	11月		1	160	160			230
国立大学法人等職員採用試験説明会		千里山:1回	2月		1	290	290			781
国家一般職説明会		官庁業務説明会	12月		1	305	870			該当なし
国家公務員採用試験説明会		各府省合同業務説明会	12月		1	565	170			32
公務員模擬面接	千里山:7回	4年次・M2生	6・7月	7	36	36	★			
M24 生 対 象 生	合同企業セミナー(補助対象事業)	5月 227社	4年次・M2生	5月	10	3,190	4,677		—	6,084
		6・7月 115社		6・7月	4	(6月)500 (7月)388				
		9月 74社		9月	2	378				
		11月 33社		11月	2	221				
	企業セミナー	【社】キャンマーケティング、種水ハウス、阪急デザインシステムズ、大和ハウス、小泉成器、コロナ	4年次・M2生	6・8・9月	9	262	262	—	83	
	就活継続者対象ガイダンス	千里山:6回	4年次・M2生	5月	6	343	355	☆	859	
		高槻:1回			1	12			53	
	留学生対象合同企業研究会(経産省)	千里山:1回	4年次・M2生	10月	1	16	16	★	未開催	
	学情合同企業研究会	千里山:1回	4年次・M2生	10月	1	130	130	☆	該当なし	
	就活リスタート講座	千里山:1回、高槻:2回	4年次・M2生	8・9月	3	(千里山)69 (高槻)23	92	☆	177	
5月以降の就職活動の進め方	千里山:3回 高槻:1回	4年次・M2生	5月	4	475	475	☆	859		
4年生就活相談会(高槻)		4年次・M2生	7月	—	未開催	未開催	☆	未開催		
TOEIC IPテスト *参加者数は、受験料納入者数でカウント	千里山:2回 ミューズ:1回	全学年	6月	3	676	1,648	★	1,251		
	千里山:2回 ミューズ:1回		11・12月	3	972					
語彙・読解力フィールドテスト	千里山	全学年	7月	—	未開催	—	★	92		
卒業生セミナー	千里山:1回	卒業生	12月	—	未開催	—	30	☆	50	
	千里山:1回		3月	1	30					

(申込制)

★:厳密な申込制、☆:当日参加可能等緩やかな申込制、△:対象者限定、—:申込み不要

注)網掛け:平成23年度補助対象事業

別紙2

【表1】

学生の相談件数表

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
4月	520	1115	1270	997
5月	390	978	735	750
6月	302	668	670	746
7月	212	383	465	513
8月	65	170	169	223
9月	127	324	300	349
10月	210	400	402	395
11月	164	424	474	450
12月	319	706	759	726
1月	787	1164	1322	1248
2月	1469	1607	1608	1758
3月	986	1069	1131	1260
合計	5551	9008	9305	9415

※平成20年度データはご参考です。

【表2】

平成21年度 就職先に対する満足度

学部計	人数	割合
大変満足	1449	47.3%
大体満足	1398	45.7%
あまり満足していない	191	6.2%
全く満足していない	24	0.8%
計	3062	100.0%

未回答	857
-----	-----

就職者数	3919
------	------

平成22年度 就職先に対する満足度

学部計	人数	割合
大変満足	1527	50.7%
大体満足	1325	44.0%
あまり満足していない	141	4.7%
全く満足していない	19	0.6%
計	3012	100.0%

未回答	1283
-----	------

就職者数	4295
------	------

別紙3

平成23年度「東京ツアー」アンケート集計

9/14~9/16実施

参加学生数 40名
アンケート回収率 100%

ツアー中に実施した下記プログラムその他に対し、5点満点で満足度(有効活用性)を評価

大変満足	満足	普通	やや不満	不満
5	4	3	2	1

①講演会「オールフリーの宣伝戦略」(サントリー酒類(株) 宣伝部長 三好健二様)

回答数	39名	5	4	3	2	1
平均点	4.3点	16	21	2	0	0
		41.0%	53.8%	5.1%	0.0%	0.0%

- <感想>
 ・「宣伝部」という消費者目線ではなかなか見ることができない部分を知ることができ、新鮮でした。
 ・「オールフリー」の成功までの道のりや、他社との差異化を図る工夫等を聞いてよかったです。
 ・「やってみなはれ」という言葉に励まされました。
 ・海外事業が進む中、今後現地で知名度を向上させるために広告費も拡大していくと感じました。
 ・「ランチェスター理論」を学べたことが大きな収穫になりました。
 ・宣伝の仕方ひとつで商品の売れ行きが変わるといふ点に使命感と面白さを感じました。

②企業訪問(9/15 コクヨ(株) 内容:企業説明、展示見学、グループワーク⇒発表、相談・質問会)

回答数	40名	5	4	3	2	1
平均点	4.5点	21	15	4	0	0
		53.0%	38.0%	10.0%	0.0%	0.0%

- <感想>
 ■業界説明、会社説明■
 ・商品を通じて世の中の役に立つという言葉の重みを知りました。
 ・コクヨの方ように、自分の仕事に自信と誇りを持って将来、働く自分になりたいと思いました。
 ■ショールーム見学■
 ・ファニチャー事業に触れることができ、モノづくりの面白さを生き生きと感ることができました。
 ・皆が幸せになれるような企画、経営戦略を打ち出せるような人材になりたいです。
 ・そのために知識や情報収集が必要だと痛感しました。
 ・空間に対する概念に感銘を受け、奥深さに感動し御社に対するイメージが変わりました。
 ■グループワーク■
 ・時間内に仕上げることの重要性を学ぶことができ、
 時間管理には気をつけて今後の大学生活を送っていきたくです。
 ・提供する側、される側両方の視点にたつて物事を考えることの重要性を知りました。
 ・機能面だけでなく、ビジネス面でのメリット・デメリットを考えることを学びました。
 ・関西大学の問題点というお題は身近で取り組みやすく、創造力を高めることができました。

③企業訪問(9/15 東京地下鉄(株) 内容:地下鉄博物館見学、会社説明、グループワーク⇒発表)

回答数	40名	5	4	3	2	1
平均点	3.5点	5	20	13	1	0
		13%	50%	33%	3%	0%

- <感想>
 ■博物館見学■
 ・御社の歴史をビジュアル面から学べ良い見学になりました。
 ・社員さんの豆知識等を見学中に披露してほしかったです。
 ■会社説明■
 ・関連事業も行っていることを知り、企業の「これから」の展望を知ることができました。
 ・鉄道事業でも多くのひしりがあることを知り、視野の拡大に繋がりました。
 ・もっと御社の事業内容等を聞きたかったです。
 ■グループワーク■
 ・関連事業の展開が、地下鉄の利用者数を拡大するということワークを通じ実感することができました。
 ・増収事業について熟考するワークが楽しかったです。
 ・少子高齢化という社会的背景を捉え、今後は上手く企画に盛り込めるよう根拠ある意見を提示していきたいです。
 ・企業説明をもっと詳しく聞いてからワークに臨みたかったです。

④企業訪問(9/16(株)日本公文教育研究会 内容:各部署訪問インタビュー、グループワーク⇒発表、質疑応答)

回答数	22名	5	4	3	2	1
平均点	3.6点	4	12	4	2	0
		18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%

- <感想>
 ■インタビュー■
 ・社員の生の声が聞け、また仕事について熱く語ってくれ、大変感動しました。
 ・幅広い年齢層の方を対象に事業展開していることを知り、企業研究の大切さを学びました。
 ・思っていた企業とは全く異なっており、イメージが変わりました。
 ■グループワーク■
 ・キャッチコピーを考えるワークが楽しかったです。
 ・各部署に向き、傾聴すること要約することの難しさを知ることができ、充実したワークになりました。
 ・時間が短いわりに、ワーク内容が深く大変だったので、もう少し作業時間がほしかったです。
 ■質疑応答、その他■
 ・悪しき点もきちんと指摘してくれたことが大変うれしかったです。
 ・社会人になる覚悟を覚えてくれたことで、自分に喝を入れることができました。

⑤企業訪問(9/16 オリックス(株) 内容:企業説明会、グループワーク、OB・OG懇談会)

回答数	15名	5	4	3	2	1
平均点	4.0点	13	2	0	0	0
		86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%

- <感想>
- 会社説明
 - ・長期的な視点を持つことの大切さを知りました。
 - ・厳格な基準で融資を判断することのメリットを感じました。
 - ・また、そうした基準が結果的に顧客のためになる可能性もあると感じました。
 - グループワーク
 - ・協力してひとつのものを完成させた時の達成感とチームワークの大切さを学びました。
 - ・新人研修で行う内容のワークができたことが光栄でした。
 - OB・OG懇談会
 - ・厳しい言葉を受け、もっと自分自身頑張らなければという自覚が持てました。
 - ・「働くこと」について考えるきっかけになりました。
 - ・就職活動時のエピソードや自己PRの仕方等が聞け大変参考になりました。

⑥企業訪問(9/16 豊島(株) 内容:会社説明、グループワーク⇒発表、質疑応答)

回答数	35名	5	4	3	2	1
平均点	4.4点	19	14	2	0	0
		54%	40%	6%	0%	0%

- <感想>
- 業界説明、会社説明
 - ・総合商社と専門商社(豊島)の相違点を知ることができ、商社に対して興味を抱きました。
 - ・個人力、行動力の大切さを知り、他人に良い影響を与えることのできる人間になりたいです。
 - グループワーク
 - ・個人戦的なグループワークであり、一人ひとりが自分で考え結果を出さなければならなかったため、刺激的で新鮮なワークとなりました。
 - ・情報を得るための駆け引きが楽しく、自分の現在の力量を知ることができました。
 - ・周囲と協力して物事を進めることも大切だが、個人の力を伸ばすことも大切だと気付きました。
 - 質疑応答等
 - ・笑談から真面目な話まで様々な話を聞いて有意義な質問会となりました。
 - ・忍耐力や柔軟性の大切さを知り、何より人事の方々の人柄に多くを学びました。

⑦OB・OG懇談会

回答数	39名	5	4	3	2	1
平均点	4.7点	27	12	0	0	0
		69%	31%	0%	0%	0%

- <感想>
- ・貴重な経験ができました。来年以降も継続してほしいです。
 - ・開催会場・・・イオンモールKYOTO Kotoホール(京都市南区西九条鳥居口町1)
 - ・様々な業種の先輩方とお話したり情報をいただくことができ有意義な時間となりました。
 - ・様々な方のお話を聞くことで、考え方の幅が広がりました。

⑧東京ツアーに参加して変わったことは何ですか？

回答数	39名	5	4	3	2	1
平均点	4.9点	38	1	0	0	0
		97%	3%	0%	0%	0%

- <感想>
- ・自分自身が能動的になれました。「やってみなはれ」を実行していきたいです。
 - ・社会に対して自分はどう貢献できるのかを考えるようになりました。
 - ・自分を見つめなおす良い機会となりました。「就職活動」へのイメージも180度変わりました。
 - ・業界によってカラーがあることを知り、様々な業界、企業をみる必要性を感じました。
 - ・キャリアセンターをもっと利用していこうと思います。

⑨キャリアセンタースタッフについて

回答数	38名	5	4	3	2	1
平均点	4.6点	25	11	2	0	0
		66%	29%	5%	0%	0%

- <感想>
- ・細部にまで気を配ってくれ、話しかけてくれることで緊張がほどけ安心してツアーに参加することができました。
 - ・キャリアセンターを今後有効に活用していきたいです。堺キャンパスを金曜のみでなく常時開室にしてほしいです。
 - ・もっとキャリアセンターの方々と話す機会(時間)がほしかったです。

⑩「東京バスツアー」全体を通して

回答数	37名	5	4	3	2	1
平均点	4.8点	29	8	0	0	0
		78%	22%	0%	0%	0%

- <感想>
- ・早期から就職活動について語る仲間を持てよかったです。
 - ・「働くこと」に関する考え方や就職に関する課題を知ることができ参加して良かったと思います。
 - ・2年生からこうした経験ができたよかったです。
 - ・積極的に行動でき自己の成長を感じることができました。
 - ・意識の高い人々と関わることで、自己意識の向上に繋がりました。
 - ・意識改革の助けになりました。不鮮明だった就職活動が鮮明になりやる気UPに繋がりました。
 - ・普段では見ることのできない、企業の内側を見ることができ大変貴重な経験ができました。
 - ・後輩にも是非勧めたい行事です。
 - ・もう少し自分を見つめなおすワークがあればいいなと思いました。

■参加費について(参加費:19,800円)

回答数	38	高い	妥当	安い
		1	24	13
		3%	63%	34%

Q. いくらくらいが妥当と思うか？

「高い」と回答した学生の平均 17,000円
 「安い」と回答した学生の平均 22,000円

- 今後の検討事項
- ・開催時期
 - ・訪問企業数
 - ・他大学との交流の場

別紙4

平成23年度 全国有力企業研究会の実施について (報告)

■実施概要

- ・開催日時・・・平成23年12月17日(土)18日(日)12時～17時
- ・開催会場・・・イオンモールKYOTO Kotoホール(京都市南区西九条鳥居口町1)
- ・出展企業・・・首都圏および関西圏以外に本社を置く、全国の有効企業
- ・参加学生・・・関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学の3年次生・M1生

■その他

- ・一昨年、昨年は大阪の新梅田研修センター(大阪市福島区福島6-22-20)で開催。
- ・京都、滋賀在住の学生から会場が「遠い」との要望が出ていた。
- ・京都駅前に適当なセミナー会場(Kotoホール)が新設されたため、今年度は京都でイベントを実施した。

来場学生数の集計

	来場数(12月17日)	来場数(12月18日)	来場数(2日間計)	対前年比(%)
関西大学	513	316	829	126.18
関西学院大学	57	41	98	22.63
同志社大学	183	164	347	211.59
立命館大学	423	287	710	248.25
四大学計	1176	808	1984	128.83

※【参考】昨年実施分の来場学生数

	来場数(2日間計)
関西大学	657
関西学院大学	433
同志社大学	164
立命館大学	286
四大学計	1540

■実施結果

- ・昨年度を大幅に上回る動員となった(1540名→1984名。対前年比129%)。
- ・本学および同志社、立命館は来場学生数増。関西学院大学は大幅減。

■来年度の実施

- ・平成24年12月15日(土)16日(日)新梅田研修センターで開催予定。

平成 21 年度 就職状況 < 全体 >

【学部】

学部	学科	卒業生数		就職登録者数		(a)就職活動者数		(b)就職決定者数		就職率 (b/a×100)		大学院進学者		就職しない者で 卒業後の進路が 決まっている者	
		男女	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計
法学部	法律学科	436	681	427	669	258	434	244	399	94.6	91.9	49	64	120	171
	政治学科	245		242		176		155		88.1		15		51	
法学部	政治学科	131	216	131	215	87	151	82	139	94.3	92.1	4	6	40	58
		85		84		64		57		89.1		2		18	
小計		567	897	558	884	345	585	326	538	94.5	92.0	53	70	160	229
		330		326		240		212		88.3		17		69	
文学部		283	908	276	894	190	642	182	589	95.8	91.7	32	67	54	185
		625		618		452		407		90.0		35		131	
経済学部		555	811	537	791	419	629	398	588	95.0	93.5	13	14	105	148
		256		254		210		190		90.5		1		43	
商学部		424	766	412	752	315	601	302	560	95.9	93.2	13	16	84	135
		342		340		286		258		90.2		3		51	
社会学部		325	871	320	859	247	691	233	643	94.3	93.1	9	22	64	146
		546		539		444		410		92.3		13		82	
総合情報学部		339	524	330	514	241	396	232	368	96.3	92.9	37	42	52	76
		185		184		155		136		87.7		5		24	
工学部	機械工学科	132	133	132	133	74	75	73	74	98.6	98.7	55	55	3	3
	機械システム工学科	1		1		1		1		100.0		0		0	
	機械システム工学科	123	124	123	124	73	73	72	72	98.6	98.6	45	46	5	5
		1		1		0		0		-		1		0	
	先端情報電気工学科	99	106	98	105	36	42	36	40	100.0	95.2	56	57	6	6
		7		7		6		4		66.7		1		0	
	電子情報システム工学科	118	121	118	121	57	60	57	60	100.0	100.0	53	53	8	8
		3		3		3		3		100.0		0		0	
	化学工学科	93	106	93	106	53	60	53	60	100.0	100.0	34	39	6	7
		13		13		7		7		100.0		5		1	
	応用化学科	93	111	93	111	20	27	20	27	100.0	100.0	65	76	8	8
		18		18		7		7		100.0		11		0	
	先端マテリアル工学科	94	98	94	98	58	60	58	60	100.0	100.0	34	36	2	2
	4	4		2		2		100.0		2		0			
システムマネジメント工学科	88	93	88	93	51	53	51	53	100.0	100.0	22	23	15	17	
	5		5		2		2		100.0		1		2		
都市環境工学科	77	92	77	92	47	59	46	58	97.9	98.3	24	25	6	8	
	15		15		12		12		100.0		1		2		
建築学科	70	101	70	101	43	67	43	67	100.0	100.0	24	27	3	7	
	31		31		24		24		100.0		3		4		
生物工学科	57	113	57	112	31	65	30	62	96.8	95.4	22	39	4	8	
	56		55		34		32		94.1		17		4		
小計		1,044	1,198	1,043	1,196	543	641	539	633	99.3	98.8	434	476	66	79
		154		153		98		94		95.9		42		13	
学部計		3,537	5,975	3,476	5,890	2,300	4,185	2,212	3,919	96.2	93.6	591	707	585	998
		2,438		2,414		1,885		1,707		90.6		116		413	

※上記には、第2部は含まない。

【大学院】

学部	学科	修了者数		就職登録者数		(a)就職活動者数		(b)就職決定者数		就職率 (b/a×100)		大学院進学者		就職しない者で 修了後の進路が 決まっている者	
		男女	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計
法学研究科		14	20	6	12	5	10	4	7	80.0	70.0	1	1	0	1
	6	6		5		3		60.0		0		1			
文学研究科		45	105	36	86	26	56	23	48	88.5	85.7	7	22	3	8
	60	50		30		25		83.3		15		5			
経済学研究科		11	17	11	17	10	14	8	12	80.0	85.7	0	1	1	2
	6	6		4		4		100.0		1		1			
商学研究科		10	18	8	14	8	13	6	9	75.0	69.2	0	0	0	1
	8	6		5		3		60.0		0		1			
社会学研究科		13	37	9	11	1	3	1	2	100.0	66.7	6	6	2	2
	24	2		2		1		50.0		0		0			
総合情報学研究科		32	38	29	35	22	26	22	25	100.0	96.2	4	4	3	5
	6	6		4		3		75.0		0		2			
工学研究科		317	342	316	341	288	309	288	309	100.0	100.0	10	10	18	22
	25	25		21		21		100.0		0		4			
外国語教育学研究科		6	25	5	18	3	11	2	10	66.7	90.9	1	3	1	4
	19	13		8		8		100.0		2		3			
大学院計		448	602	420	534	363	442	354	422	97.5	95.5	29	47	28	45
		154		114		79		68		86.1		18		17	

※上記には、第2部、心理学研究科、法務研究科、会計研究科は含まない。

総合計	3,985	6,577	3,896	6,424	2,663	4,627	2,566	4,341	96.4	93.8	620	754	613	1,043
	2,592		2,528		1,964		1,775		90.4		134		430	

平成22年度就職状況<全体>

■就職・進路状況<学部・大学院>

部	学部 研究科	学科	卒業・修了者数		就職登録者数		(a)就職活動者数		(b)就職決定者数		就職率 (b/a×100)		大学院進学者		就職しない者で 卒業後の進路が 決まっている者 の数	
			男 女	計	男 女	計	男 女	計	男 女	計	男 女	計	男 女	計	男 女	計
学部	法学部	法律学科	378	609	334	557	233	397	214	365	91.8	91.9	41	66	60	94
			231		223		164		151		92.1		25		34	
		政治学科	153	211	138	193	111	148	104	139	93.7	93.9	8	12	19	33
			58		55		37		35		94.6		4		14	
	小計	531	820	472	750	344	545	318	504	92.4	92.5	49	78	79	127	
		289		278		201		186		92.5		29		48		
	文学部		348	1,059	331	1,017	218	754	210	702	96.3	93.1	39	79	74	184
			711		686		536		492		91.8		40		110	
	経済学部		492	700	438	630	362	529	338	492	93.4	93.0	17	19	59	82
			208		192		167		154		92.2		2		23	
	商学部		452	742	408	689	360	605	344	581	95.6	96.0	7	11	41	73
			290		281		245		237		96.7		4		32	
	社会学部		369	830	341	792	288	660	274	613	95.1	92.9	11	24	42	108
			461		451		372		339		91.1		13		66	
	政策創造学部		213	427	177	423	177	354	170	338	96.0	95.5	14	18	20	51
			214		212		177		168		94.9		4		31	
	総合情報学部		336	546	318	525	223	383	207	355	92.8	92.7	38	45	57	97
			210		207		160		148		92.5		7		40	
	システム 理工学部	数学科	14	16	14	16	3	5	3	5	100.0	100.0	9	9	2	2
			2		2		2		2		100.0		0		0	
		物理・応用物理学	60	65	60	65	33	34	33	34	100.0	100.0	21	25	6	6
			5		5		1		1		100.0		4		0	
	機械工学科	176	184	176	184	113	114	112	113	99.1	99.1	59	65	4	5	
		8		8		1		1		100.0		6		1		
	電気電子情報工学科	123	134	123	134	46	54	46	54	100.0	100.0	71	74	6	6	
		11		11		8		8		100.0		3		0		
	環境都市 工学部	建築学科	66	102	66	102	48	72	48	70	100.0	97.2	15	22	3	8
36				36		24		22		91.7		7		5		
都市システム工学科		114	129	114	129	76	87	74	85	97.4	97.7	32	35	6	7	
		15		15		11		11		100.0		3		1		
エネルギー・環境工学科	74	87	74	87	40	49	38	47	95.0	95.9	28	31	6	7		
	13		13		9		9		100.0		3		1			
化学生命 工学部	化学・物質工学科	200	247	200	247	71	94	71	94	100.0	100.0	115	136	14	17	
		47		47		23		23		100.0		21		3		
	生命・生物工学科	50	92	50	92	24	55	23	53	95.8	96.4	20	30	6	7	
		42		42		31		30		96.8		10		1		
工学部	機械工学科	19	19	19	19	14	14	12	12	85.7	85.7	5	5	0	0	
		0		0		0		0		0.0		0		0		
	機械システム工学科	16	16	16	16	15	15	15	15	100.0	100.0	1	1	0	0	
		0		0		0		0		0.0		0		0		
	先端情報電気工学科	16	16	16	16	7	7	7	7	100.0	100.0	2	2	7	7	
		0		0		0		0		0.0		0		0		
	電子情報システム工学科	23	25	23	25	12	14	12	14	100.0	100.0	5	5	6	6	
		2		2		2		2		100.0		0		0		
	化学工学科	20	22	20	22	14	16	13	15	92.9	93.8	3	3	3	3	
		2		2		2		2		100.0		0		0		
	応用化学科	8	10	8	10	5	6	5	6	100.0	100.0	2	2	1	2	
		2		2		1		1		100.0		0		1		
	先端マテリアル工学科	25	26	25	26	16	17	15	16	93.8	94.1	8	8	1	1	
		1		1		1		1		100.0		0		0		
	システムマネジメント工学科	40	42	40	42	33	35	31	33	93.9	94.3	4	4	3	3	
		2		2		2		2		100.0		0		0		
	都市環境工学科	17	17	17	17	11	11	11	11	100.0	100.0	0	0	6	6	
		0		0		0		0		0.0		0		0		
	建築学科	12	13	12	13	9	10	9	10	100.0	100.0	1	1	2	2	
		1		1		1		1		100.0		0		0		
生物工学科	19	27	19	27	11	16	9	14	81.8	87.5	3	3	5	8		
	8		8		5		5		100.0		0		3			
電気工学科	1	1	1	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	1	1		
	0		0		0		0		0.0		0		0			
電子工学科	3	3	3	3	2	2	2	2	100.0	100.0	0	0	1	1		
	0		0		0		0		0.0		0		0			
理工学学部小計		1,096	1,293	1,096	1,293	603	727	589	710	97.7	97.7	404	461	89	105	
		197		197		124		121		97.6		57		16		
学部計		3,837	6,417	3,615	6,119	2,575	4,557	2,450	4,295	95.1	94.3	579	735	461	827	
		2,580		2,504		1,982		1,845		93.1		156		366		
大学院	法学研究科	14	20	11	16	9	12	9	11	100.0	91.7	1	2	1	2	
		6		5		3		2		66.7		1		1		
	文学研究科	51	114	31	74	21	47	17	39	81.0	83.0	9	19	1	8	
		63		43		26		22		84.6		10		7		
	経済学研究科	7	14	5	10	4	8	3	6	75.0	75.0	1	1	0	1	
		7		5		4		3		75.0		0		1		
	商学研究科	7	26	6	20	6	15	5	12	83.3	80.0	0	1	0	4	
		19		14		9		7		77.8		1		4		
	社会学研究科	13	28	5	11	3	9	3	9	100.0	100.0	1	1	1	1	
		15		6		6		6		100.0		0		0		
	総合情報学研究科	33	35	26	28	21	22	18	18	85.7	81.8	5	6	0	0	
		2		2		1		0		0.0		1		0		
	外国語教育学研究科	10	23	8	17	6	12	6	11	100.0	91.7	0	1	2	4	
13			9		6		5		83.3		1		2			
心理学研究科	7	12	5	8	5	6	5	6	100.0	100.0	0	2	0	0		
	5		3		1		1		100.0		2		0			
理工学研究科	301	327	301	327	289	311	287	309	99.3	99.4	5	7	7	9		
	26		26		22		22		100.0		2		2			
工学研究科	11	11	11	11	8	8	7	7	87.5	87.5	1	1	2	2		
	0		0		0		0		0.0		0		0			
大学院計		454	610	409	522	372	450	360	428	96.8	95.1	23	41	14	31	
		156		113		78		68		87.2		18		17		
総合計		4,291	7,027	4,024	6,641	2,947	5,007	2,810	4,723	95.4	94.3	602	776	475	858	
		2,736		2,617		2,060		1,913		92.9		174		383		

※上記には、法科大学院、会計専門職大学院、臨床心理専門職大学院を含まない。

評価結果

評定：S

評定理由（総論）

「考動力」をもった自律型社会人を育成しようと、導入教育、正課キャリア教育、インターンシップなど多様な就職支援活動を展開している。すでに実績

を積んだ優れたプログラムであり、特に保護者の参画が重要な支援の一端を担っている。参加学生からの評価も高い。複数キャンパスのなかでも同質のプログラムが個々のキャンパスで、どのように展開され、成果を上げていくかは大いに期待が持て、複数キャンパスをもつ大学の参考となる。

実地視察報告

視察日：2012(平成24)年11月19日（月）



総評

大学は、4つのキャンパス、11学部、学士課程生約27,000名を擁する大規模大学である。毎年の卒業生は約7,000名。多数の学生の就職活動を、きめ細かく丁寧に導くためには相応の工夫と努力が必要である。メインキャンパスにキャリアセンターを持ち、キャリアデザインルーム（進路支援室）を設けて、専門資格を持つカウンセラーを配置し、学年を問わずカウンセリングに応じている。しかし、リーマン・ショック以後、学生の相談数は激増した。そのため企業などの協力を得てキャリアカウンセラーを配置し、各種のプログラムを提供し、二つの相談・指導体制を確立した。

キャリアデザインでは、正課の授業を設け、導入教育科目にもキャリアデザインを取り入れるなど指導体制が整った。現在ではキャリアセンターでは、キャリアプランニングセミナー、インターンシップガイダンス、就職ガイダンス、就活準備講座、就活対策講座など、数多い取組が実施されている。1,000社を超える企業の参加、OB、OGなどの協力などを得て、年間を通じて活発な支援がなされている。

学生の就活時の大学の支援に対する満足度は極めて高く、大学の支援が奏効している。父母組織である教育後援会の参画を得て、メインキャンパスや16地方都市で就職相談会を開くなど、父母を介しての就職支援行事も大規模なものである。大学の東京センターを活用した東京バスツアーなども実績を上げてきた。総じて見れば、正統的な取組であるが、その取組は懇切丁寧であり、その成果は学生の卒業時の満足度調査にも示されている。

個別事項

キャリアセンターにおけるキャリアデザインルームは、産業カウンセラーなど資格を有するスタッフを配置し、常時、学生の相談に応じている。これに加え、人材派遣機関などの応援を得て、就職専門相談員・キャリアカウンセラーも同時に配置している。キャリアカウンセラーは、相談のピーク時には20人にも及ぶスタッフを確保して学生の相談に応じている。すなわちデザインルームのキャリアアドバイザーは、学生のキャリアに向けてキャリア教育科目を各学部に分けるなど、学生の就活に向けての資質・能力を培うことに重点が置かれ、グローバル

社会へ向けての人材育成などを志向している。

キャリアカウンセラーは、現実の就職活動を支援することを主たる任務としており、企業や校友会などの協力のもと、大規模なプログラムを展開している。特に、父母の参画は大学の特色であり、5月に開催される教育後援会（父母組織）主催の教育懇談会、就職相談会には、約7,000名の父母が参加する。就職相談をする父母はこの機会に大学に相談する機会があり、大学と父母が学生の就職支援をする体制を作っている。

また、3年生対象の就職説明懇談会では、全教員が大学内に待機して、父母や学生の相談に応じる体制を整えている。KICSS（関西大学インターネット・キャリア・サポート・システム）と呼ばれる就職支援のデータベースがあり、1年次から誰でもアクセスでき、就職に係わるイベント情報などを容易に得ることができる。就職未定者や卒業生に対しても「就活リスタート」講座などを開講して、学生支援を万全なものにしている。